



令和4年度

第9回 吹田市地域公共交通会議

千里山地区等乗合交通試験運行の実績報告

吹田市

1.試験運行バス利用者の状況について

1



●調査概要

実施時期	試験運行バスの運行期間(令和4年2月～令和6年2月) ⇒令和4年2月17日に、たけのこルート(千里山地区)試験運行開始
調査対象	期間中全便
調査手法	試験運行バス・ドライバーによる各停留所の乗降者人数の記録
調査内容	毎日毎便の各停留所における乗降者人数の整理等



写真. 運行開始日の様子



写真. 沿線道路の様子(4月)

今回は、令和4年2月の運行開始～5月末までの利用状況についてを報告

①月別利用状況について

2



- 5月末までの乗車人数は延べ16,533人で、2月の試験運行開始後、順調に利用者を増やし、5月は5,553人の利用があった。
- 2月の試験運行開始から5月末までの1日あたりの平均乗車人数は、159.0人/日、1便あたりの利用者数は14.5人/便となっている。

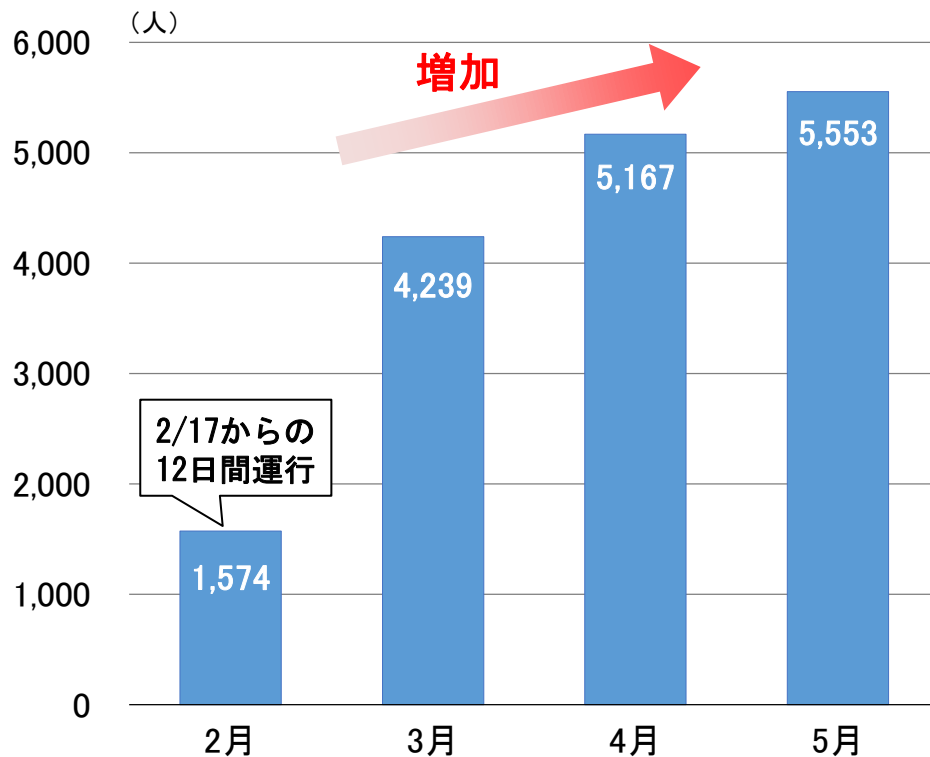


図. 月別乗車人数の推移

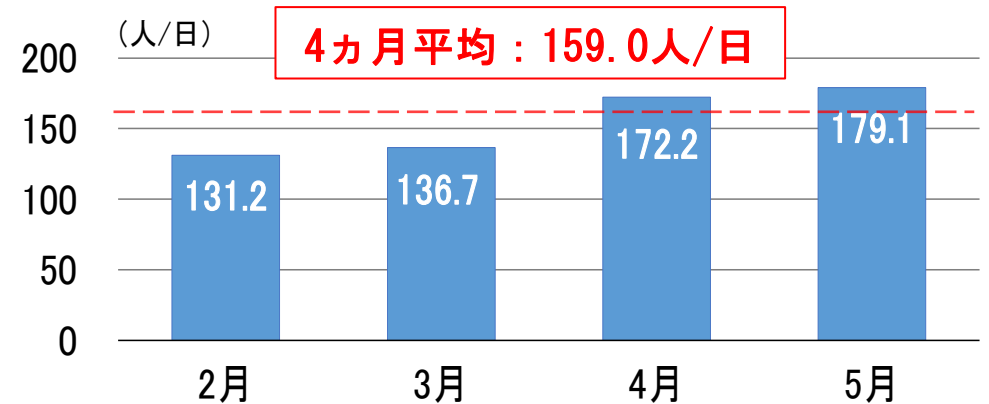


図. 各月の1日あたりの平均乗車人数の推移



図. 各月の1便あたりの平均乗車人数の推移

②便別利用状況について



- 便別での乗車人数では、第3便が最も多く、第3便以後は15人前後の利用で推移し、最終の第11便が平均10人以下の利用となっている。
- 乗車のピークの便に違いがありますが、H30年度実証実験時同様、日中の利用がほぼ横ばいに推移し、始発と終発が少ない利用状況となっており、日中のお買い物やお出かけの利用ではないかと思われる。

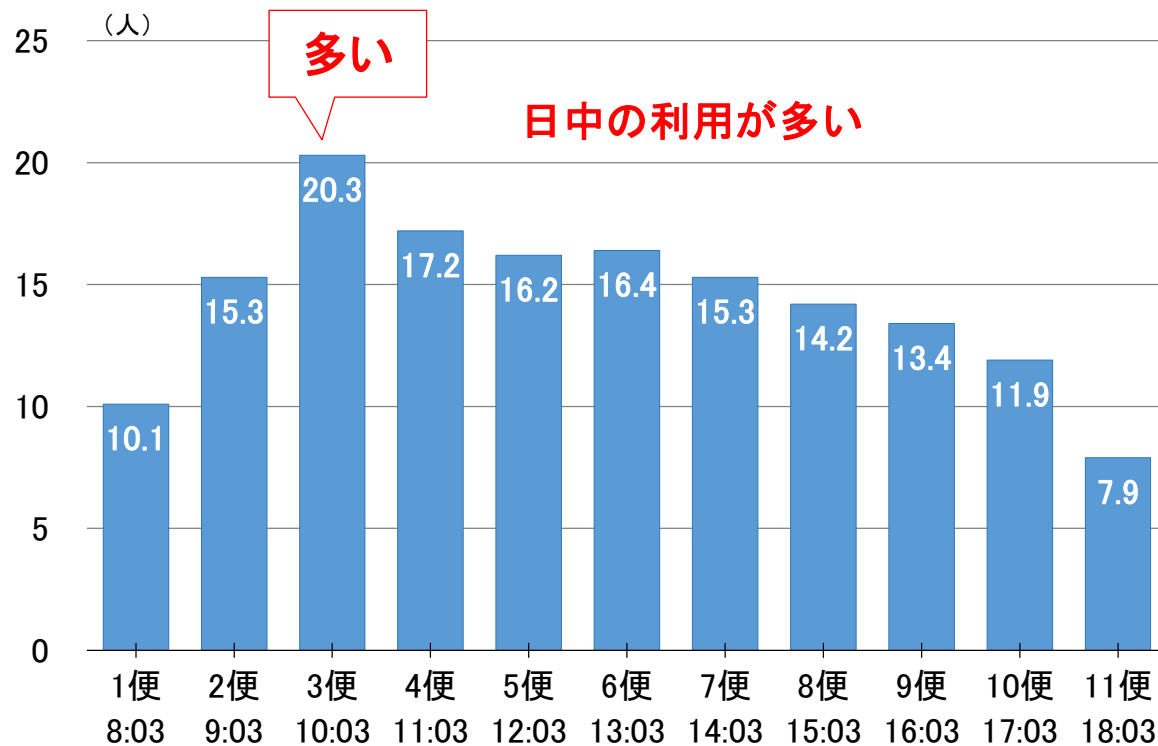
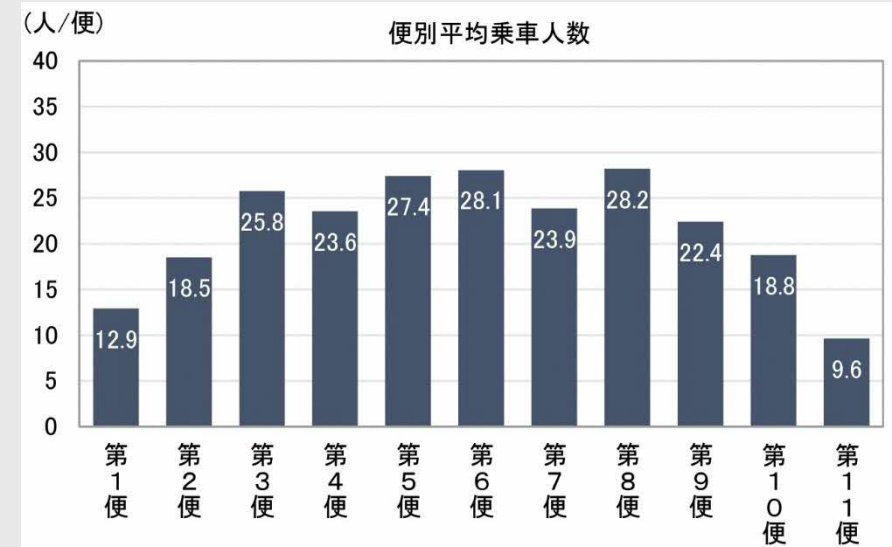


図. 便別平均乗車人数(運行期間 平均)



参考) 便別平均乗車人数(H30年度実証実験運行時)

③曜日別利用状況について

- 試験運行期間の合計では、土曜日が 2,679人 と最も多く、平日では木曜日が 2,522人 と多くなっていますが、突出して利用が多い曜日というものがなく、どの曜日もほぼ同じくらいの利用状況といえる。
- 月別では、4月の土曜日が突出して乗車人数が多くなっていますが、1便あたりの平均乗車人数では木曜日が多くなっている。
- 月別の1便あたりの平均乗車人数では、2月は水曜日、3月と4月は土曜日、5月は金曜日が最も多くなっている。

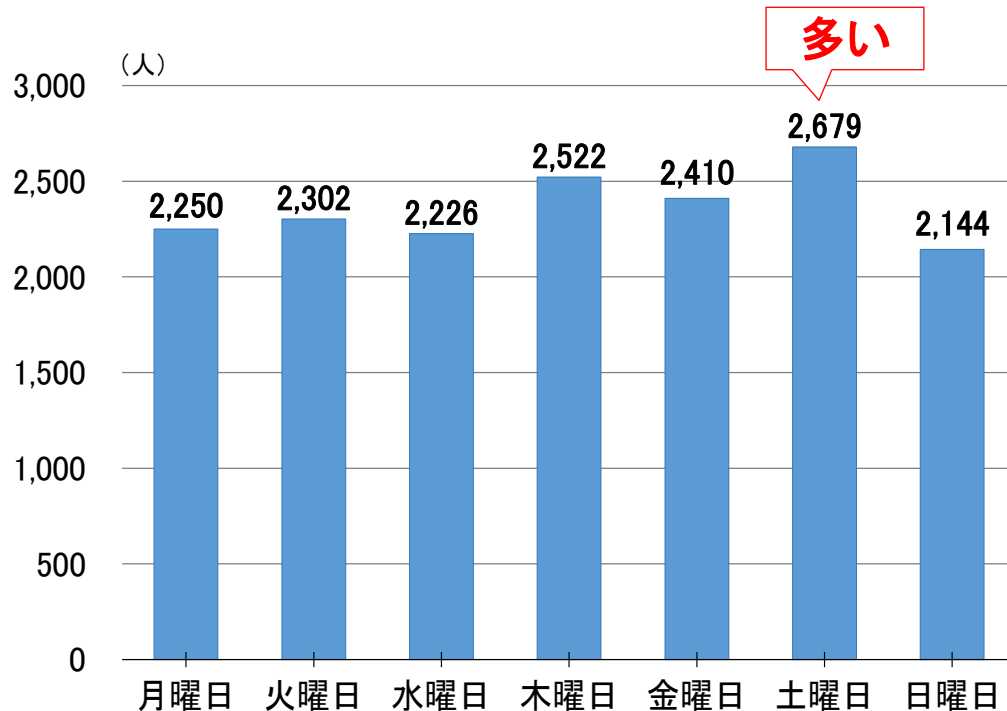


図. 曜日別乗車人数(運行期間 合計)

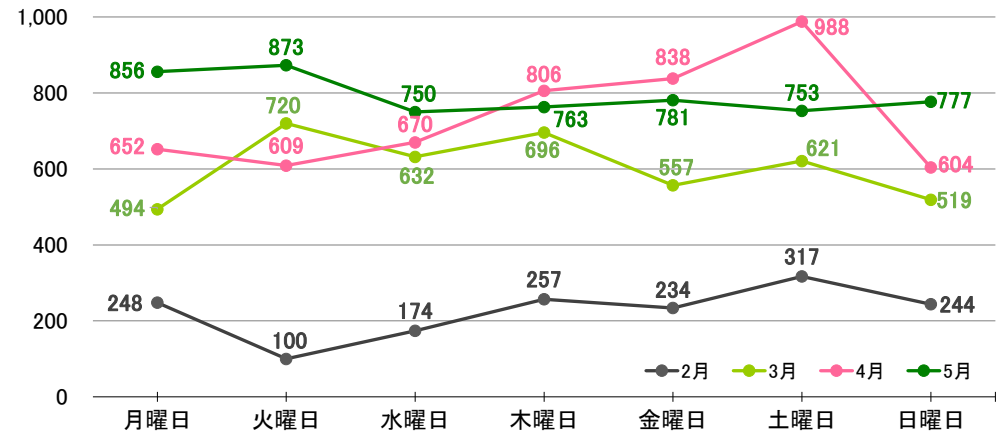


図. 曜日別乗車人数(運行期間 月別平均)

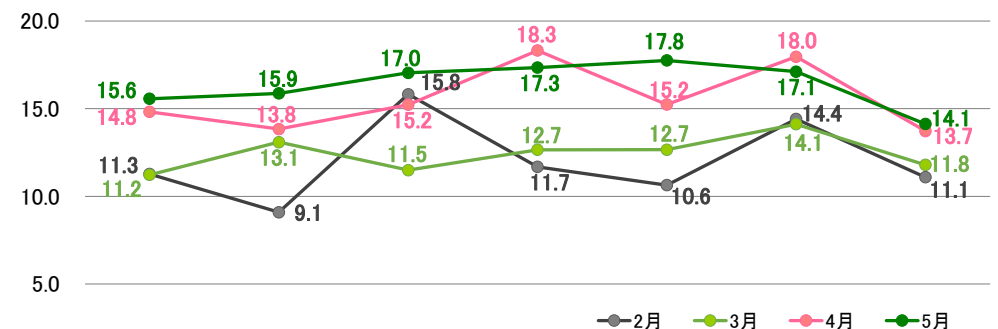


図. 曜日別1便あたりの平均乗車人数(運行期間 月別平均)

④平日休日別利用状況について



- 平日と休日(土日祝)別でみると、休日の第3便の平均乗車人数が23人と最も多くなっている。
- 1便あたりの平均乗車人数では、平日14人/便、休日15人/便とほぼ同じ利用状況となっている。
- H30年度の実証実験の便別でみると、終発を除き休日の利用が多くなっているが、試行運転では第1便と第2便、第10便と第11便は平日の方が多くなっている。

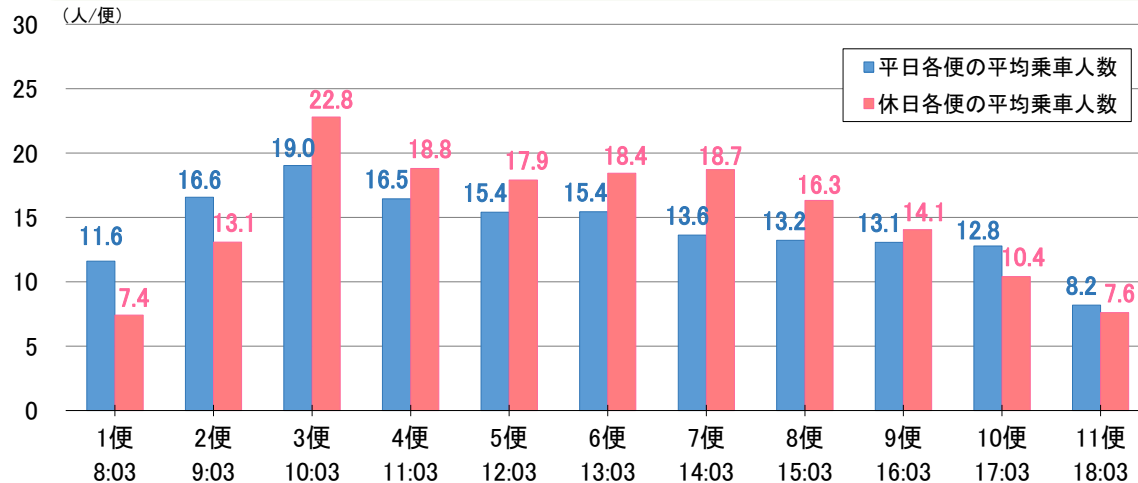


図. 平日休日別便別平均乗車人数(運行期間 平均)

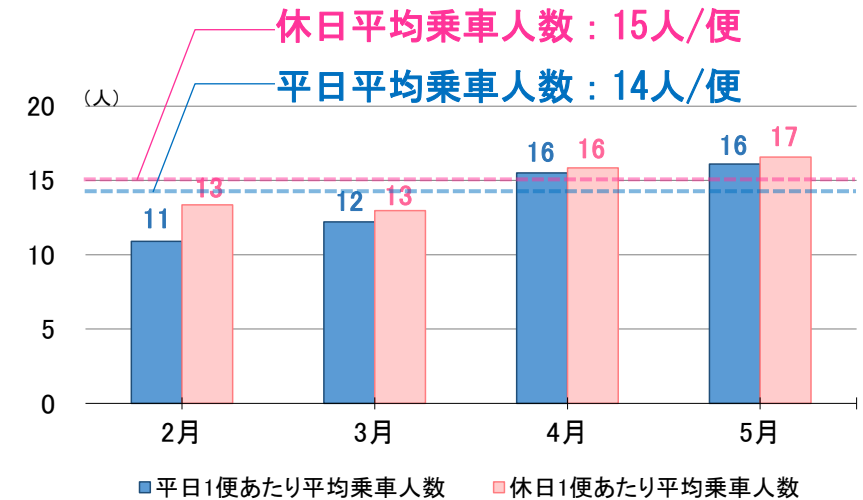
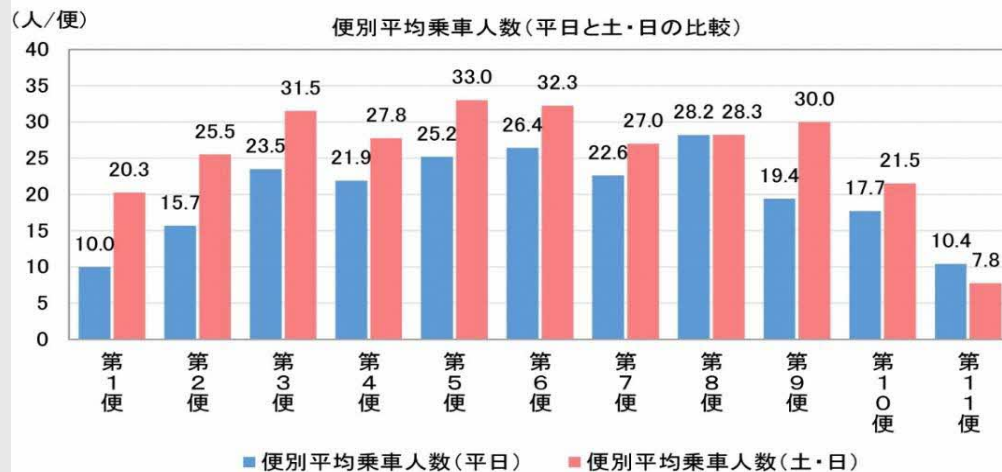


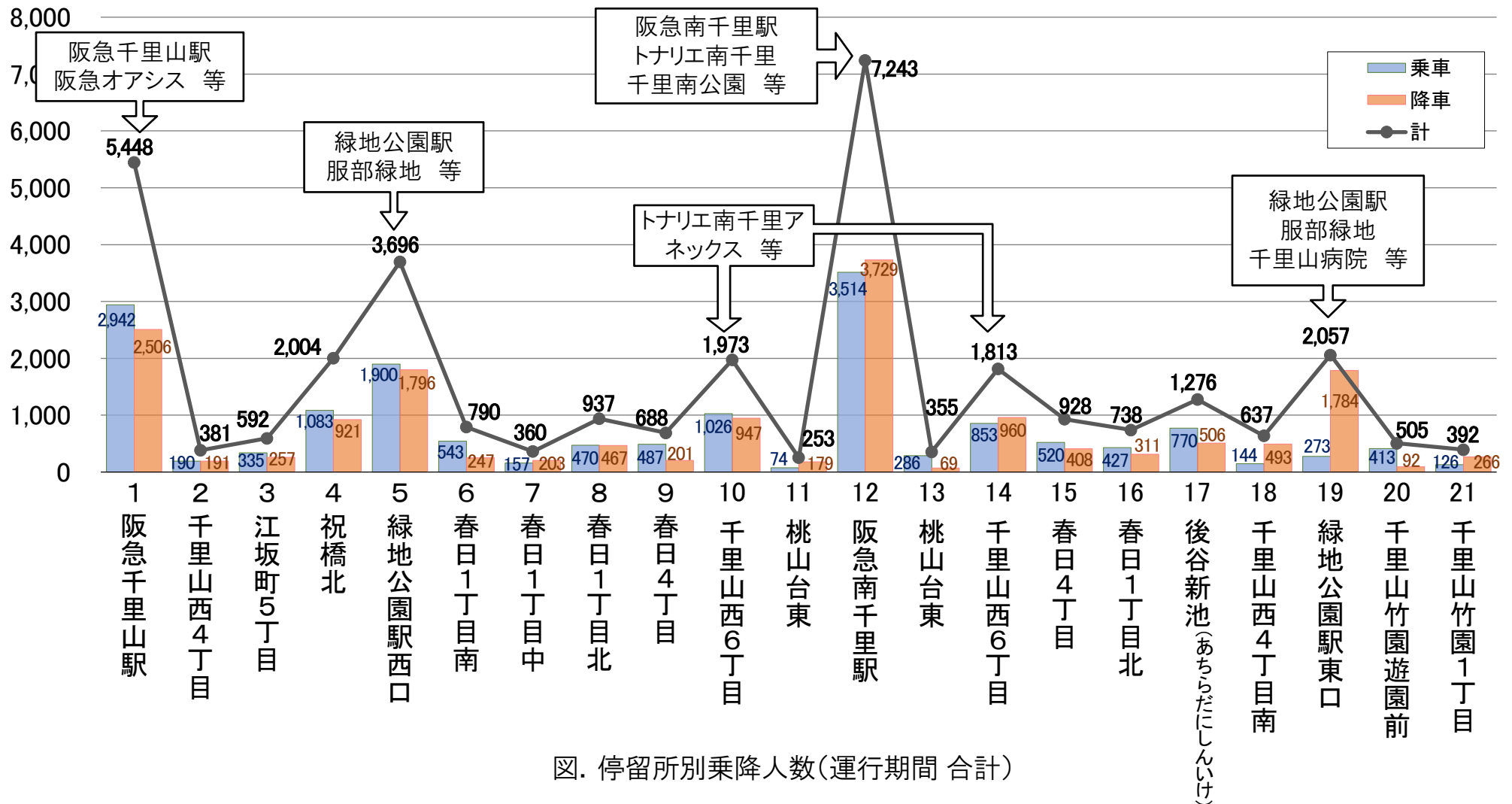
図. 平日休日別1日あたりの平均乗車人数(運行期間 平均)



参考) 平日休日別便別平均乗車人数(H30年度実証実験運行時)

④ 停留所別利用状況について

- 鉄道との乗換えが可能なバス停留所(阪急千里山駅や阪急南千里駅、緑地公園駅東口や緑地公園駅西口)で利用が多く、阪急南千里駅バス停留所の利用が最も多くなっている。
- 停留所により乗降の傾向は様々あるが、「緑地公園東口」は乗車人数に比べ降車人数が特に多い。



エリア別乗降人数



図. 停留所別乗降人数(運行期間 エリア別合計)

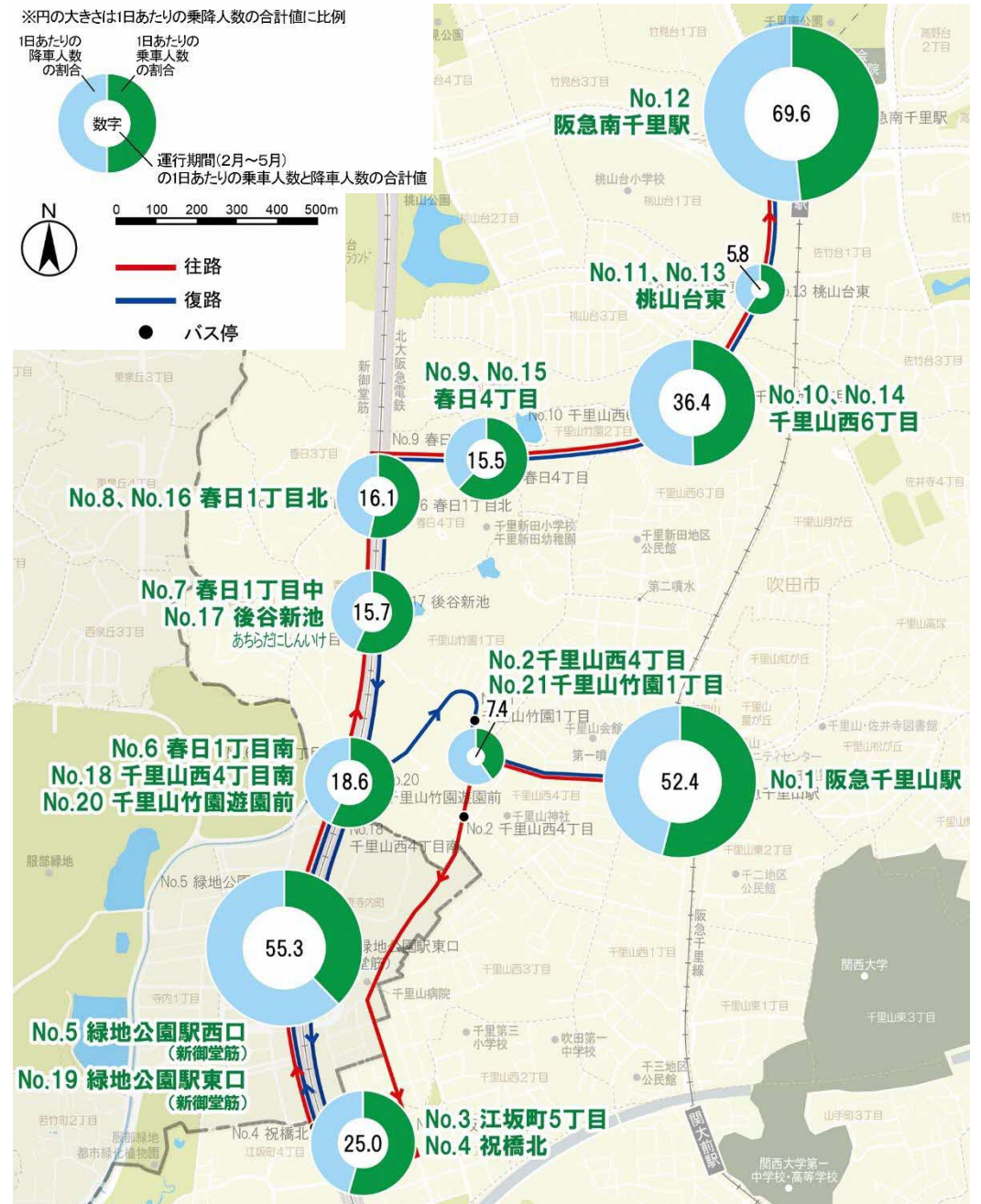


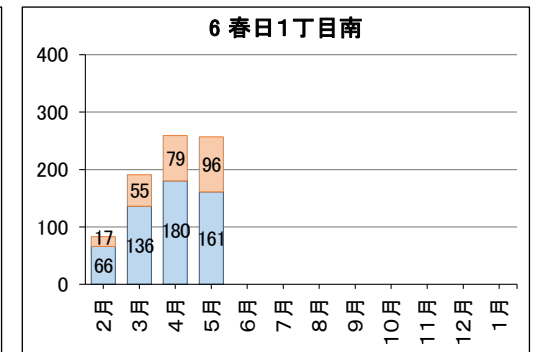
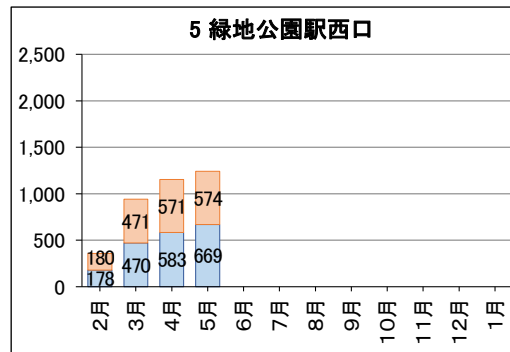
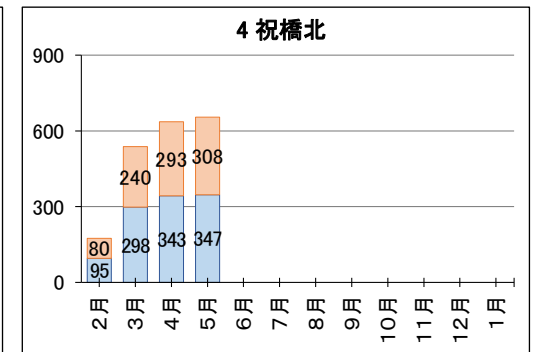
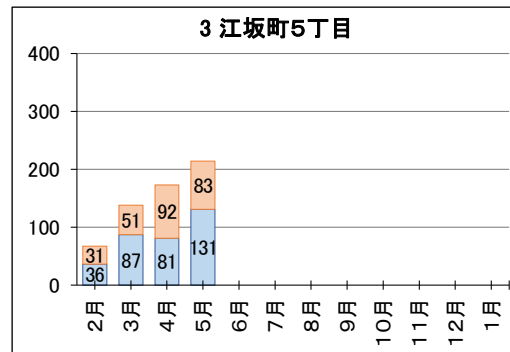
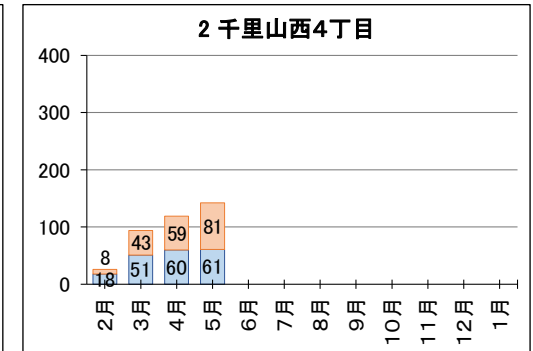
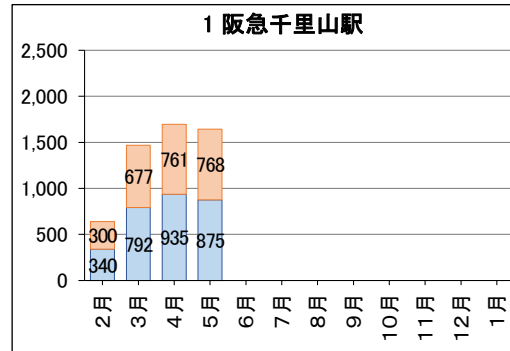
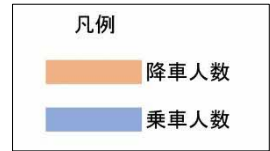
図. 停留所別1日あたりの平均乗降人数(運行期間 エリア別合計)

 往路
 復路
 往路・復路ともに
 停まるバス停

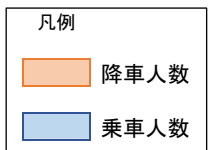
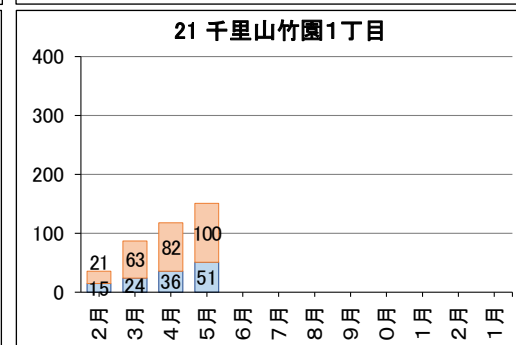
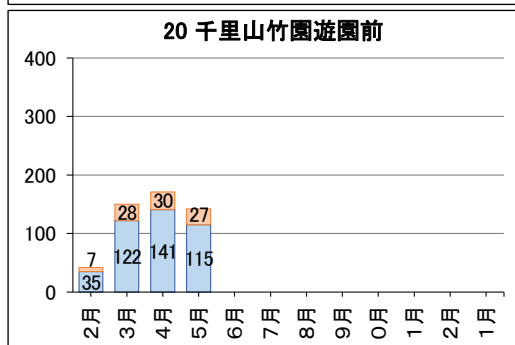
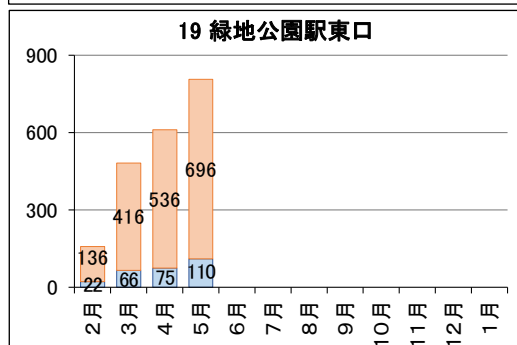
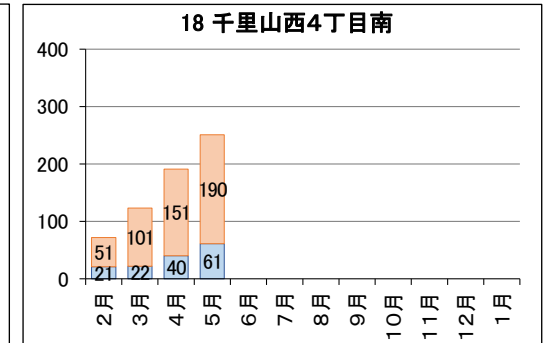
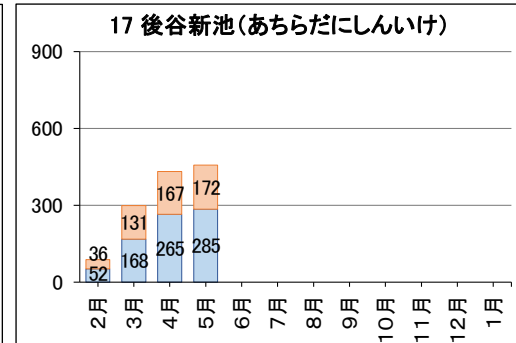
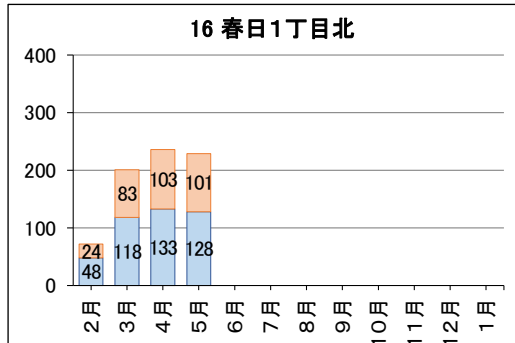
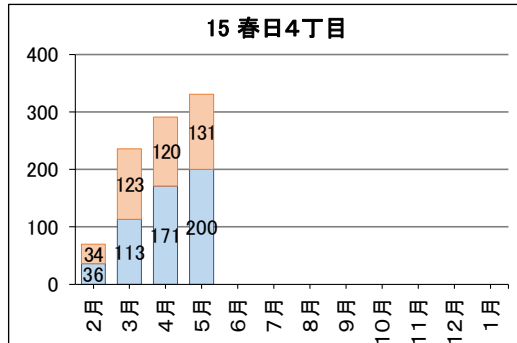
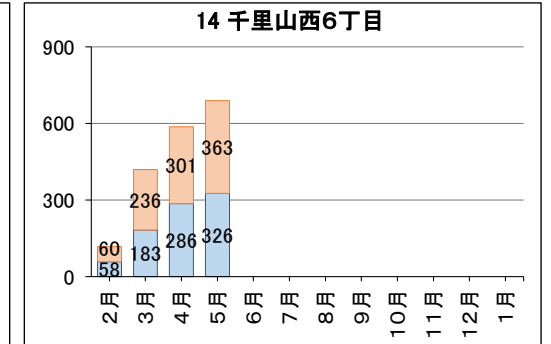
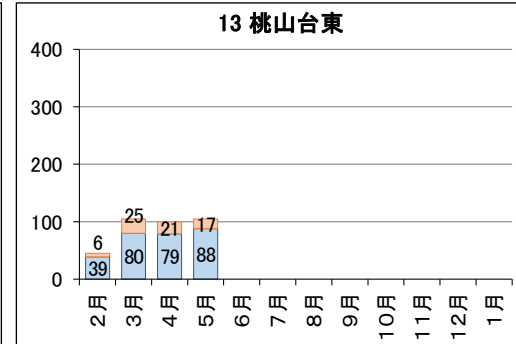
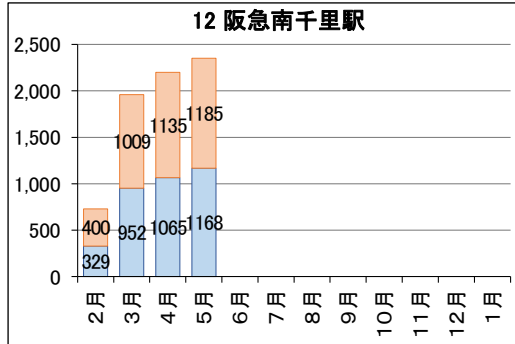
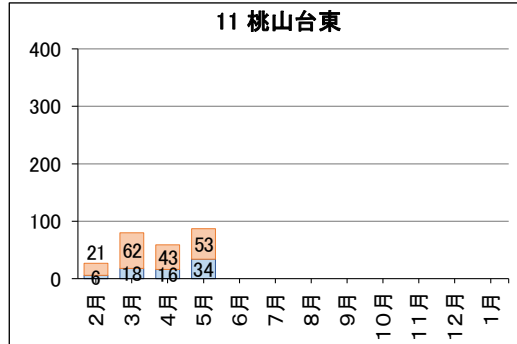
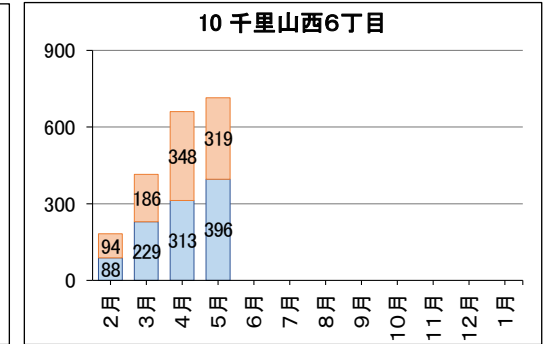
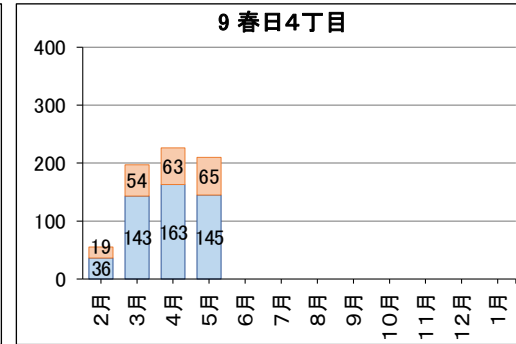
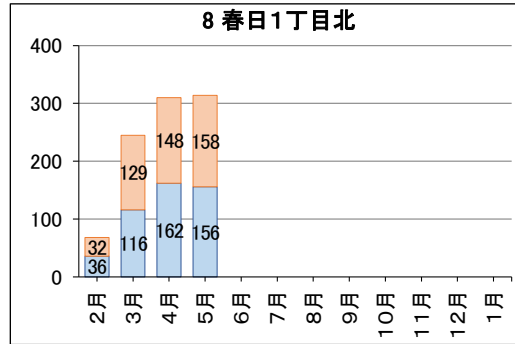
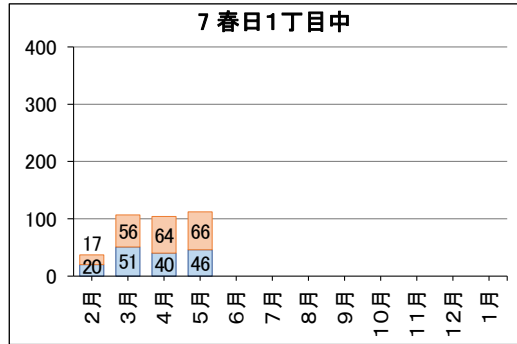


図. すいすいバス たけのこルート(千里山地域)運行ルート

④停留所別利用状況について 8



各バス停留所の月別乗降人数



2.本格運行に向けて



- すいすいバス(千里丘地域)の運行継続基準を用いて、昨年度(2月～3月分)の収支及び利用状況から収支率や乗車率を算出したのが下表となる。

※バスの座席数：10席、立席を含めると28人乗車可能

運行期間	運行 日数 (日)	輸送 人員 (人) ①	収入 (円) ②	支出 (円) ③	収支率 (%) ②÷③	便数 (便) ④	1便あたり 利用者数 (人/便) ①÷④	乗車率 (座席のみ) (%)	乗車率 (立席含む) (%)
2022年	2月	12	1,574	1,064,651	32.5	132	12	119.2	42.6
	3月	31	4,239			341	12	124.3	44.4
	4月	30	5,167	3,274,475	30%以上	330	16	156.6	55.9
	5月	31	5,553			341	16	162.8	58.2
	6月	30							
	7月	31							
	8月	31							
	9月	30							
	10月	31							
	11月	30							
	12月	31							
	2023年 1月	28							

座席のみ
100%超

立席含む
60%弱

収支率 = 運行収入(運賃や車外広告料等) ÷ 運行経費等(人件費や燃料費、事務費等)
乗車率 = 1便あたりの利用者数 ÷ バスの座席数

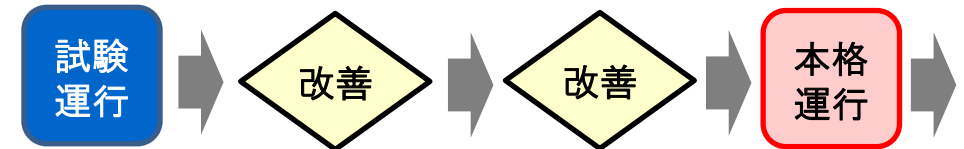


図. 本格運行までの流れ

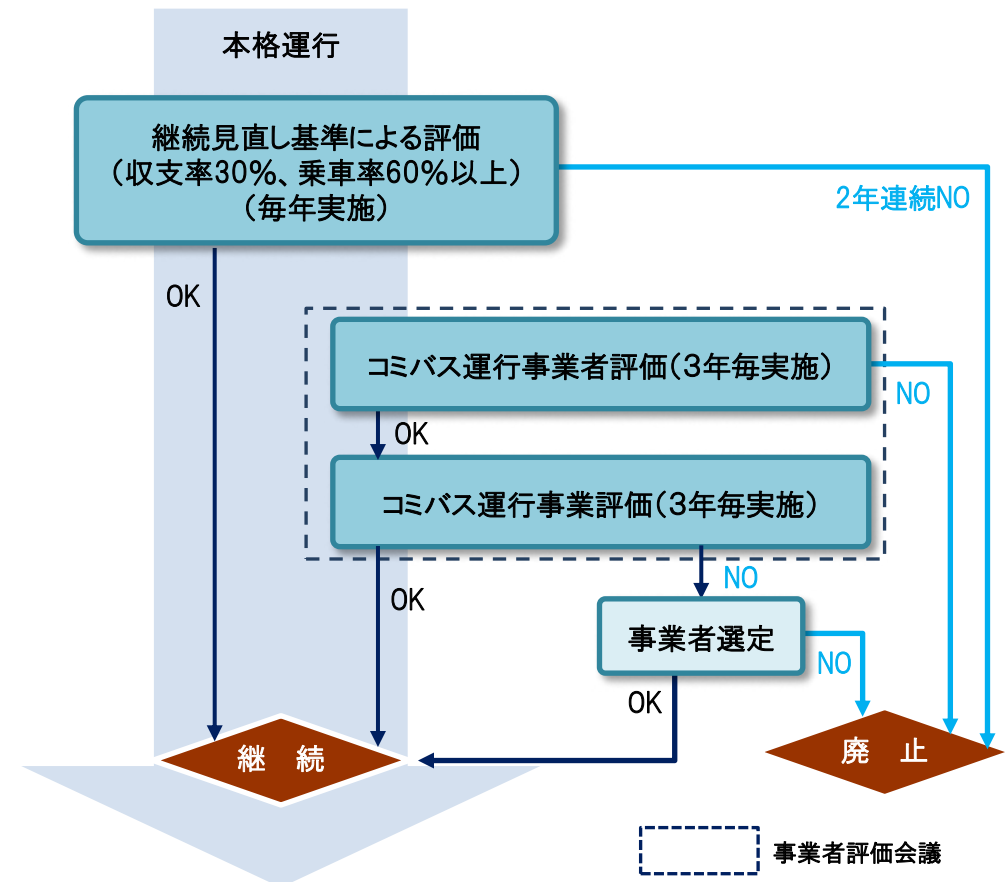


図. すいすいバス(千里丘地域)の運行継続基準

バス停留所間の走行中乗車人数の状況



●乗車定員:28人(運転手除く) 座席数:10席

2/21(月) 第3便(阪急千里山駅 10:03発)



5/22(日) 第6便(阪急千里山駅 13:03発)

